

シラバス参照

講義名	データサイエンティスト演習 I B		
(副題)			
開講責任部署	太宰府		
講義開講時期	秋学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3時限
校地	太宰府		
科目分類名			
科目分野名			
対象学科・年次	経営学科 ・ 3年～4年次		
必須/選択			

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 内保 光太郎	指定なし

学習目標(到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Pythonの基本的な操作ができる ・ 機械学習、深層学習のモジュールを使用できる ・ 特徴量の抽出ができる ・ 作成したモデルの評価ができる
授業概要(教育目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本講義では、機械学習や深層学習のライブラリの活用方法を学び、実際にプログラムを動作させることにより、AI開発の基本を修得する。 ・ データ分析の課題行い、自身のデータ分析について周囲に発表(説明)することによって、基本的なモデル開発を学ぶ。

授業計画表

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	ライブラリの取扱い① (scikit-learn)
第3回	ライブラリの取扱い② (scikit-learn)
第4回	ライブラリの取扱い③ (Tensorflow, Keras)
第5回	ライブラリの取扱い④ (Tensorflow, Keras)
第6回	データ分析の流れ
第7回	データ分析課題(1)①
第8回	データ分析課題(1)②
第9回	データ分析課題(1)③(発表)
第10回	データ分析課題(2)①
第11回	データ分析課題(2)②
第12回	データ分析課題(2)③(発表)
第13回	データ分析課題(2)①
第14回	データ分析課題(2)②

第15回	データ分析課題（2）③（発表）
第16回	（定期試験）
授業形式	<ul style="list-style-type: none"> ・PCのある教室にて講義並びに演習を行う。 ・パワーポイントによるプレゼンテーションにて講義を行う。 ・皆さんの理解度によって、授業計画を変更することがある。 <ul style="list-style-type: none"> ・15回の講義において、小テスト・総合演習課題を実施する。
評価方法	発表+ 提出物+小テストにて総合的に判断 ※2/3以上の出席がない場合は、単位を認定することができない。
テキスト	【図書名】作成した資料を中心に講義を進める。 【著者名】 【出版社】 【価格（税込）】
参考文献	必要に応じて、参考資料を授業で使用します。その際に、参考文献については紹介します。
オフィスアワー(授業相談)	執務室に在室の時間帯は、いつでも相談可能です。事前に連絡を頂けると助かります。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・実務でのデータ分析の内容紹介を含めながら、実務により近い分析を実施していきます。 ・プログラミング中心の講義のため、自分で積極的に調べるなどして学習できる人でないとついていくのが難しい講座となっています。 ・自分のスキルアップや、将来の就職のために、是非チャレンジしてみてください。 ・初級～中級レベルを想定しています。
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、授業範囲のテキストを読んでおく ・授業で分からなかった語句を、授業後に調べておく（分からなかったものについては、先生に確認する）

[ウインドウを閉じる](#)